Rotary Weekly

広島空港ロータリークラブ週報

2021 年 12 月 18 日発行

SERVE TO CHANGE LIVES
奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

2021-22 年度
国際ロータリーテーマ

会長 熊谷祐司/副会長 鶴田秀樹/幹事 森崎正治/SAA 澤井一徳
事務局 三原市本郷南 6 丁目 3-26 番地 三原臨空商工会 2階
TEL 0848-86-0986 ・ FAX 0848-86-0992 ・ E-mail h.kukorc@vega.ocn.ne.jp
例会場 広島エアポートホテル TEL 0848-60-8111

12 月 1 2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20 21 22 23 24 25 26 27 28 29 30 31

例会 例会 例会 Xmas 例会 休会 休会

本日のプログラム（12 月 18 日）	次回のプログラム（1 月 8 日）
Xmas 家族例会 18:30～20:30	新年例会 18:30～20:30

第１２２０回 ２０２１年１２月１５日 例会記録

点 鐘 熊谷会長

ロータリーソング「奉仕の理想」

出 席 報 告

	会員数 名誉会員	出席者	メイク	欠席 （免 除）	出席率
本 日 (12/15)	28 2	17 0	1	6 4	75.00
メイク	澤井				
前々回 (12/1)	28 2	16 0	3	6 3	76.00
メイク	重森・兼田・近藤				

食 事 時 間

おしながき

合鴨 鮎甘露煮 栗渋皮煮
鯛炙り 鳥賊 本鮪
オコゼ天ぷら 小倉 茄子
三原蛸鏑卸仕立て
海藻麺 とさかのり
鳥と木ノ子の炊き込みご飯
香の物 赤出汁
水菓子 オレンジ 瑞石

報 告 事 項

2021 年今年の世相を表す漢字「金」

広島空港 RC12 月 1 日・8 日例会 応募総数 21 名

正解者 3 名(益谷名誉会員・近藤会員・三好会員)

会 長 時 間

高垣市長様、本日はお忙しい中お越しくださり誠にありがとうございます。後程の卓話を宜しくお願いいたします。

年 次 総 会

会員総数の 3 分の 1 が定数となっており、本日会員 28 名中 17 名出席されておりますので、総会は成立いたします。次年度の理事、役員は、先般指名委員会の指名でご了解をいただき、本日お手元に配布しています指名委員会からの推薦名簿として提出させていただきますので、皆さんでご審議よろしくお願いいたします。

（承 認）

ありがとうございます。皆様ご賛同いただきましたので 2022-2023 年度はこの役員、理事の構成でさせていただきます。

2021-2022 年度　役員・理事・委員会構成表

理事会		
役員		理事
会　　長	河井一朗	河井一朗
会長エレクト	鶴田秀樹	鶴田秀樹
副　会　長	小畠勘次	小畠勘次
直前会長	熊谷祐司	熊谷祐司
幹　　事	谷本佳弘	伊藤佳子
副　幹　事	鶴田幸彦	川本吉則
S　A　A	兼田昌紀	三好敏之
会　　計	佐々木正親	伊藤保

委員会	委員長	部門	委員
クラブ管理運営	小畠勘次	クラブ奉仕・親睦 リーダー　大下知男	松本邦雄・森崎正治 堀内　至・谷本康信 藤川　清・武野公昭
		出席プログラム リーダー　澤井一徳	
広　　報	伊藤佳子	週報、広報、雑誌 公共イメージ	楠部　滋・桐島勝利
会員組織	川本吉則	ロータリー情報 会員増強	全　　員
奉仕プロジェクト	三好敏之	国際奉仕 リーダー　岡田雄幸	鶴田秀樹 近藤一也 橋濱智美 兼田昌紀 佐々木正親 玉川勇二郎
		社会奉仕 リーダー　乗越耕司	
		青少年奉仕 リーダー　鶴田幸彦	
		職業奉仕 リーダー　重森佳代子	
財　　団	伊藤　保	ロータリー財団 米山記念奨学会	熊谷　祐司

河井次年度会長挨拶

皆様改めましてこんにちは。先ほど、会長、役員、理事とご承認いただきましてありがとうございます。
私みたいに経験年数の浅い若輩者が、次年度大役を仰せつかるのは本当に恐縮ではございますが、先輩方から日頃教えて頂いております、友愛と奉仕の精神で、来年しっかりと取り組んでいきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

幹　事　報　告

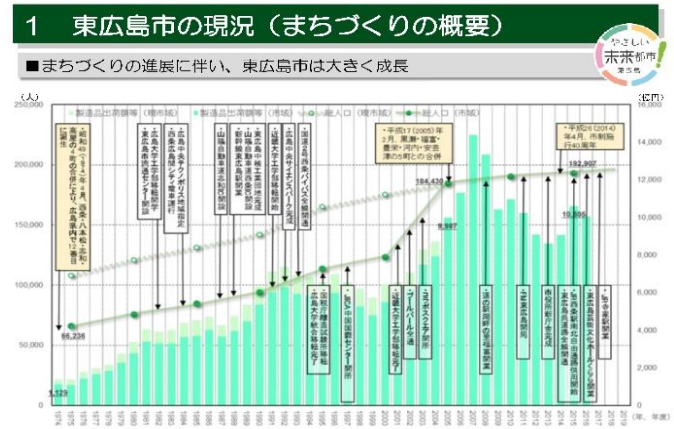
《配布物》週報 1219 回、地区活動報告書、卓話資料
《回　覧》今後の例会出欠表
　　RI 会長杯ロータリーワールドゴルフ大会の案内

卓　話　時　間

東広島市
市長　高垣廣徳　様

選ばれる都市 東広島を目指して
新たなまちづくり（次世代学園都市づくり構想）

本日は例会卓話に、お招きいただき誠にありがとうございます。皆様に東広島市が今後どのようなまちづくりをしていこうとしているのか、お聞きいただけるチャンスを頂戴しありがとうございます。お配りしています資料はお帰りになってご覧頂き、今日は、スライドでピックアップしながらお話しをさせて頂きます。



2　これまでのまちづくりに関する評価

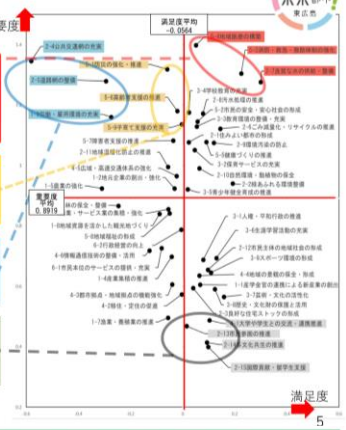
市民満足度調査の結果から

・「地域医療の構築」「消防・救急・救助体制」「良質な水の供給・整備」など
⇒重要度・満足度ともに高い

・「子育て支援」「防災の強化・推進」「高齢者支援」など
⇒重要度が高く、満足度が平均以下

・「公共交通網の充実」「道路網の整備」「労働・雇用環境の充実」など
⇒重要度が高く、満足度が低い

・「国際貢献・留学生支援」「多文化共生」「大学や学生との交流」など
⇒重要度が低い



※資料「R2（2020）年　市民満足度調査」

5

3　東広島市のまちづくりの課題

これからのまちづくりの課題

人口増加傾向の鈍化及び自然減への移行

・本市の人口は一貫して増加してきたが、少子高齢化の影響などで、総人口が減少に転じることも想定される。
・これにより、企業活動の縮小、コミュニティ活動の停滞、福祉・医療分野の負担増など、持続的な発展への影響が懸念される。

魅力的な都市機能の不足

・商業、宿泊、飲食、娯楽機能の集積が他の拠点都市と比較して低い水準にあり、多くの域内需要が広島市に流出しているなど、文化・娯楽等の面で都市機能の不足が、人口の定着にも影響している。
・大学、研究機関の立地による各種会議などは多くあるが、宿泊機能やアフターコンベンション機能が弱く、都市のにぎわいや魅力を楽しむ需要が域外に流出している。

産業構造の偏重と成長力を生み出す新産業の創出

・本市の産業構造は、特定分野に偏重しており、業績低迷により、施策推進に大きく影響するおそれがある。
・大学や研究機関等と地域企業との連携が十分ではなく、地域資源を活かしたイノベーションの創出はあまり進んでいない状況。
・市内の公的産業団地が完売となるなど、企業の立地要望に応えられていない状況。

市民の生命・財産を守る防災対策の推進

・平成３０年７月豪雨では、市民生活や企業活動に甚大な被害を受けた。
・山林の荒廃や雨水流出への対応の遅れ、ため池の適切な管理など、様々な課題が表面化。
・今後は、災害からの復旧・復興を進める中で、ハード・ソフトの両面にわたって強靭な地域づくりを推進し、市民の生命・財産を守り、安全・安心の期待に応える環境を形成することが求められる。

次世代を担う人材の定着

・本市には、市内４大学に17,000人以上の大学生が在籍しているが、市内就職率は概ね３%。
・本市で学んだ人材が継続的に本市で生活し、国内外で活躍できるような環境づくりが必要である。

中心部と周辺部での人口の偏在と生活基盤の維持

・市中心部では、人口が増加しているが、サービス産業の集積、三次救急を担う医療機能、保育機能が弱い。
・周辺地域では、高齢化、過疎化により、コミュニティの形成機能や基礎的な生活機能の維持及び地域における道路、上下水道などへの投資効率の低下が懸念される。

公共交通をはじめとする交通問題

・市街地では交通渋滞が深刻化。
・周辺部では公共交通機能の存続が大きな課題。
・より効率的で利便性の高い移動手段の選択が地域において可能となるよう、様々な方策を検討し、改善を図ることが必要である。

地域における住民活動の持続的な基盤づくり

・少子高齢化や災害なども懸念される中で、住民自治協議会、消防団、自主防災組織など地域の各種団体の担うべき役割も増大する。
・一方で、担い手不足などの問題もあり、地域の活力維持のために必要な住民活動を持続できるよう、効果的な支援策が必要。

平成 30 年 7 月豪雨災害、新型コロナウィルスの感染、未曽有の経験をする中で、まちづくりについて SDGs というような持続可能性というものが大変重要な時代となり、様々な問題をこれから地球レベルで考えていく必要があると思います。

一方で、テクノロジーの進歩で様々な課題が解決できるようになってきました。可能性として、遠隔医療が出来れば中山間地の課題が 1 つ解決できるようになります。学校がなくなると地域が疲弊しますので、今ある学校をいかしながら通信という技術の中で、小規模校が連携して授業を進めることができれば、新しい過疎に対する方向性が見いだせる。且つ、コロナの時代を経験する中で、集中という問題が顕在する訳です。むしろ適当に過疎の方が良い適疎という事も言われるようになってきました。

大学の学園都市として成長してきましたが、これまでの大学との関係の中では、今後の成長に限界があると感じそういう事を踏まえたまちづくりが必要ではないかと思い新しい総合計画を作る事にしました。

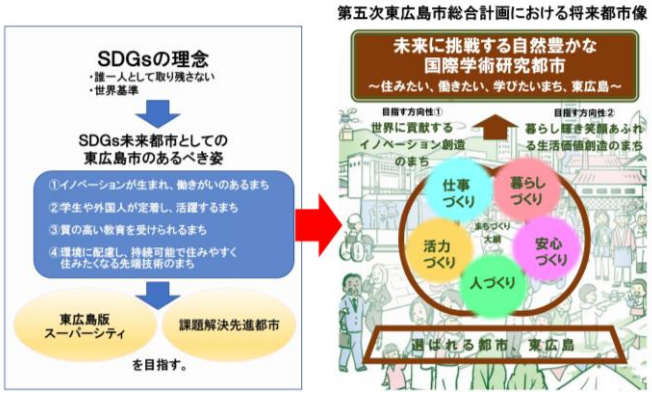
4　選ばれる都市となるために

第五次東広島市総合計画（2020年～2030年）を策定

目指すまちの姿

1. 地域イノベーションの積極的な展開
2. 希望ある未来へ挑戦する新たなプロジェクトの展開
3. 次の時代を見据えた地域共生社会の実現
4. 豊かな自然環境の保全と活用
5. 国際色豊かなまちの形成

新たなまちづくり
（総合計画における将来都市像とＳＤＧｓ）



選ばれる都市となるために

仕事づくり　知的資源と産業力で多様な仕事が生まれるまち

○産業イノベーションの創出
○中小企業等の活力強化
○企業の投資促進
○農山漁村の魅力づくりと農林水産業の活性化
○地域資源を活かした観光の振興
○働き方改革の推進による雇用環境の充実

東広島ビジネスサポートセンター Hi-Biz

東広島イノベーションラボ　ミライノ＋

東広島ブランド地鶏「こい地鶏」

観光DMO「ディスカバー東広島」

Hi-Biz は、お金を掛けずに売り上げを伸ばしていく、伴奏型のコンサルティングをするシステム。（全国で 25 ケ所）我が市の特徴は、商工会議所と連携して行っています。

暮らしづくり　自然と利便性が共存する魅力的な暮らしのあるまち

○暮らしを支える拠点地区の充実
○安全で円滑な生活交通の充実
○快適な生活環境の形成
○豊かな自然環境の保全
○市民協働のまちづくりによる地域力の向上
○多文化共生と国際化の推進

広島中央エコパーク供用開始（R3.10）

豊かな自然環境

市民協働のまちづくり

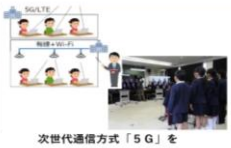
国際化の推進

人づくり　誰もが夢を持って成長し、活躍できるまち

○人権・平和の尊重と男女共同参画の推進
○乳幼児期における教育・保育の充実
○高い教育力と伝統を活かした学校教育の実践
○新たな価値を創造する人材の育成
○知的資源と国際性を活かした人づくり
○市全体が「学びのキャンパス」となる環境づくり

東広島市立美術館の開館

組曲「西條」


次世代通信方式「５Ｇ」を活用したGIGAスクール構想

ICT教育の様子

安心づくり　自助・互助・共助・公助によって安心した生活を送れるまち

○災害に強い地域づくりの推進
○安全・安心な市民生活の実現
○総合的な医療体制の確立
○健康寿命の延伸による生涯現役社会の実現
○誰もが生き生きと暮らせる地域共生社会の実現
○安心して子どもを産み育てられる環境づくり

新型コロナウィルス感染症対策

自主防災組織の土のう積み訓練

地域共生社会の実現

保育の様子（イメージ）

活力づくり　学術研究機能や多様な人材の交流から新たな活力が湧き出すまち

○学術研究機能の発揮による都市活力の創出
○多様性豊かな市民の力が輝くまちづくり
○都市成長基盤の強化・充実
○交通ネットワークの強化
○環境に配慮した社会システムの構築
○未来を感じるプロジェクト挑戦都市

市民向けポータルサイト運用開始

道の駅西条のん太の酒蔵の整備

新モビリティサービス実証実験

広島中央サイエンスパーク

Town & Gown 構想の実現

目的　大学との連携による魅力あるまちづくりの推進

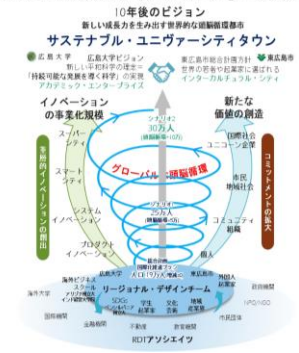
取組　大学と都市が一体となって持続可能な魅力的なまちづくりに取り組む

タウン（まち）とガウン（学生や教授たち）が一体となったまちづくりや、地域におけるSDGｓの達成に向けた課題解決を目指す。

大学との連携強化（経緯）

2019年度

文部科学省補助事業「科学技術イノベーションによる地域社会課題解決（DESIGN-i）」への取組み



2020年度～2021年度

- 広島大学と市が共同で「Town & Gown Office (TGO) 準備室」を設置
- 令和3年10月27日に「Town & Gown Office (TGO)」を開設

新たなまちづくり（次世代学園都市づくり構想）

○広島大学を中心としたグローバル展開の受け皿づくり
○高度な教育機関の誘致　○産学連携機能の整備
○DXの推進　○次世代の居住空間
○民間研究機関の誘致　○海外都市との連携

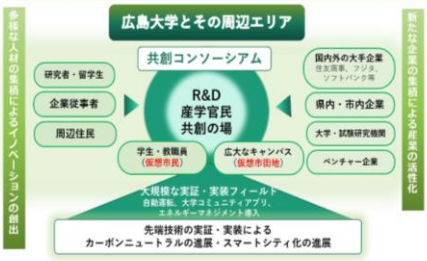
Town & Gown Office の活動内容

- **共同業務の日常業務化**
  東広島市役所14の業務部署と各教員の科研費等研究テーマと講義内容とのマッチング（COMMONプロジェクト）
- **新たなまちづくり**
  産学官民連携によるスマートシティ化
- **カーボンニュートラル**
  太陽光発電、地中熱など再生可能エネルギーを徹底活用し、周辺地域を巻き込みながら、大学自ら『再エネ型経済社会』に貢献する。

- **スマートキャンパス5.0**
  次世代通信技術(5G及びローカル5G) を基盤として、仮想空間と現実空間を高度に融合させた、人間中心の社会(Society5.0) を体現するキャンパスを実現する。

18

共創コンソーシアムの形成



広島大学・住友商事㈱ 三者協定（R3.1月）

広島大学・ソフトバンク㈱ 三者協定（R3.7月）

広島大学・㈱フジタ 三者協定（R3.7月）

「市民のしあわせ」（Well-Being）

○ Society5.0 for SDGsの考えに基づき、「市民のしあわせ」(Well-Being)を最大化

東広島市ならではの特徴を活かした多様・多才なコミュニティを形成し、ＤＸ等を通じて、そのコミュニティの間に多様なつながりをつくることで、東広島ならではの“まち・ひと・しごと”それぞれの持続的な発展・成長を可能にする楽しく、豊かな新しい暮らし方の実現と、それを支える共助の仕組みを構築します。

イノベーション創造（集積する学術研究機能）
－広島大学を中心とした新たな都市機能の形成－

生活価値創造（豊かな自然環境）
－生活者との地域共創の実現－

次世代の学園都市としてどのように我々はこの 10 年間まちづくりをしていくのか、職員と議論しながら、いろんな外部知見もいただきながら進めているところであります。皆様方で、アイデアがありましたら、是非お知らせ頂ければと思います。ご清聴ありがとうございました。